

公表日： 2024 年 2月16日

事業所名： KID ACADEMY神戸本校

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	厚生労働省が定める設備基準を満たしています。	はい、14/どちらともいえない、3 もう少し広さと窓がほしい。自然光がなく、薄暗い。個人の時は良いが集団で身体を動かす時はもう少し広いといいなと思います。	ご不便をおかけしてしまい申し訳ありません。以前よりワット数をあげたライトに変更をしております。集団で動くスペースを確保するために事前に職員同士で話し合いをするようにしております。
	2 職員の適切な配置	人員配置につきましては、法令を遵守しており、有資格者(保育士・児童指導員など)を配置しております。	はい、15/どちらともいえない、2 言語聴覚士などの専門資格を持っていらっしゃる方がいるといいなと思います。	言語聴覚士、児童指導員や、保育士等の資格を持っている指導員を配置しております。保護者への周知をどのようにしていくか検討し、実施してまいります。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	事業所内で過ごす流れがある程度の決まりがあり、靴箱に靴を入れる・手を洗う・かばんを片付ける・ノートを出すといった一連の流れを自ら進んで行えるような環境づくりと職員の声かけを心掛けております。	はい、13/どちらともいえない、2/いいえ、1/わからない、1 トイレが施設内にあると良いなと思いました。(2件)	お手洗いが外にあり、ご不便をおかけしております。お子様に合わせた声かけを行いながら、お一人での回りの準備を行えるよう取り組んでおります。カバンをしま箱は定期的に新調させて頂きます。お手洗いは時間をしながら早めの声かけを行い、小学校へ向けて自ら言えるよう促しております。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	日々清掃・消毒を徹底し、お子様が健康・安全に過ごすことができるように配慮しています。	はい、16/どちらともいえない、1	お手洗いが外にあり、ご不便をおかけしております。手洗いができないため消毒を2段階で行っています。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	毎月全児童を対象にモニタリングを行っており定期的に振り返り、計画を立てております。また、毎日朝礼で進めていく業務確認と現状確認をしております。		モニタリングの他、日々職員で振り返り等行い改善点等の話し合いの時間を設けております。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	現在は、利用者・社内の2者評価をとっております。		第三者による外部評価については、現在実施の予定はありませんが、今後必要に応じて実施を検討してまいります。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	入社時に計3回(21時間)のスタッフ研修を実施し、その後は支援の質の向上を目指した事例検討の場を設けております。		引き続き、事例検討を通した研修を継続し、より高い指導スキルをもつ育成者やスーパーバイザーが指導員のスキルを評価し共に通所支援計画をたてることにより、指導の質を担保し、すべての指導員が日々スキルアップできる仕組みを整えてまいります。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	個別支援計画書の更新あたり、面談等で保護者や利用者に対する現状や課題のすり合わせを行い、支援計画に落とし込み日々の支援につなげております。また、統一したアセスメントシートを使用しています。	はい、17 個人の年齢や発達段階のこともあると思いますが、短期、中期、長期などでのより細かな目標、また現在ほどのくらいなのか、それに対してどの様なアプローチをするのかをより詳しく聞けたら親として嬉しいですが。また実際に日々取り組んでいる内容が、"今日は〇〇をしました。"だけでなく、それが何に対するサポートになっているのか、その子にどの様に役立つから行っているのかなども、教えていただけたら嬉しいです。	引き続き、利用者や保護者のニーズや課題の共有を密に行い、更なる支援の向上に努めてまいります。保護者の方へ送迎時などに詳しくお話をさせて頂きたくようにさせて頂きます。また、面談時には、細やかな目標アプローチや支援等お話をさせて頂きます。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	お一人お一人のお子様に必要な伸ばしていきたい力を分析し、個別カリキュラムと集団カリキュラムを組み合わせで実施しております。また、集団療育内においても利用者の状況に応じたねらいに沿った支援を行っております。	はい、17	利用者の特性や状況により、個別・集団療育を適宜組み合わせ計画の作成に努めてまいります。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	保護者との面談をもとに、課題を明確化し、具体的な目標・支援内容の記載を行っております。	はい17	引き続き継続し、より課題やニーズに沿った計画や内容の記載に努めてまいります。
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	保護者との面談をもとに作成した個別支援計画書をもとに、職員間で課題を共有し、支援の実施に努めております。	はい、15/どちらともいえない、1/わからない、1	引き続き継続し、スタッフがより専門性を持って支援に従事してまいります。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	職員間で個別・集団それぞれにおいてできるようになったことや現状の課題を共有し、カリキュラムの組み方に活かしております。		引き続き継続し、チーム全体での立案・考案に努めてまいります
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	利用時間によって、一緒に活動できるお友達が違うこともあり、その日にその日の最善の組み方を意識しております。お子様の体調などを見て調整することも大切にしております。		幼稚園のお休み期間にご利用を増やしたい等、できるだけ保護者様のご希望に添えるよう検討させて頂きますのでご相談ください。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	個別・集団での抱える課題やニーズに対し、多角的に支援プログラムを設定することで利用者が飽きずに取り組めるように工夫を行っております。	はい、15/わからない2 日々違う色々な内容を行っている様なので、そうだと思います。今日は、どの先生がどの様な資格や知識、技術があるから、この様な取り組みをしました。などまでわかると、より保護者は理解しやすくなると思います。	各自の課題に添ったプログラムを職員一同でシェアし、引き続き支援の質やアプローチの方法を深めていきます。保護者の方へ送迎時などその日の様子を詳しくお話をさせて頂きます。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	支援開始前に職員が集合し、当日の支援内容や担当などについて共有したうえで、実際の支援に従事しております。		今後も日々のお子様のご様子等情報共有に努め、より良い支援を目指し取り組んでおります。
9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	成長している点や何かの理由により取り組むことが難しかった場合はその様子など共有したいことを簡潔にまとめるようにしています。支援後、または次の日の支援前に職員が集合し、当日又は前日の支援内容やお子様の様子についての気づきなどを振り返り、次の支援につなげております。また、保護者からの連携事項などは業務日報に目を通し職員からの共有を受けております。		次の支援に活かせるよう、日々の出来事やお子様のご様子等情報共有に努めております。どんな些細なことでもお気軽にご相談ください。	

	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	支援内容や課題などを職員間で共有しながら記録として残すように徹底しております。支援に対して常に振り返り、次の支援につながるように努めております。		引き続き、正確に記録を残していくとともに、支援の質や感賞を深め、更なる支援の向上に努めてまいります。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	半年に1回以上のモニタリング実施・計画の見直しを行っております。		継続して、定期的なモニタリングの実施・計画の見直しを行ってまいります。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	実際利用者に日々接しているスタッフが担当者会議に参加させていただいております。		今後も継続してまいります
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関	なし		なし
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	なし		なし
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	園訪問など定期的に行い連携が取れております。		今後も同様の機会があった際には、積極的に支援内容等の共有を行い円滑な移行につなげてまいります。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	現状対象にあたる利用者がいらっしゃいませんが、該当者が出てこられた際には、次の支援につながる情報共有をおこなってまいります。		今後、該当する利用者がいらっしゃる際には、次の支援につながる情報提供を行い円滑な移行につなげていきたいと考えております。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	利用者の状況や課題について主にモニタリングを通じて連携し、情報共有を行っております。		今後も綿密な連携を行っていくとともに、社内における専門家チームの研修・支援のフィードバックなどの機会を増やしていきたいと考えております。
	7	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	積極的に園訪問をおこない連携をとっていますが、感染症の拡大防止の観点もあり、積極的に実施することができない状況ではあります。	はい、9/どちらともいえない、2/わからない、6	積極的に園訪問をおこない連携をとっていきます。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	感染症などの拡大防止の視点もあり、積極的な招待・交流は行えておりません。		可能な限り地域にオープンな事業の運営に努めてまいります。
保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	初回ご契約時にご説明させて頂いております。	はい、17	ご契約時にご説明させて頂いておりますが、ご不明な点等ございましたらお気軽にご質問ください。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	計画を提示しながら、利用者のニーズに沿った具体的な支援内容の説明に努めております。	はい、17	個別支援計画の更新時に面談等でご説明させて頂いておりますが、ご不明な点等ございましたらお気軽にご質問ください。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	積極的な実施には至っておりません。	はい、10/どちらともいえない、2/いいえ、2/分からない 是非、してみたいです。	茶話会を定期的に行っておりますのでご参加いただければと思います。 ペアレント・トレーニング等は現在行っておりませんが、今後検討して参りたいと思います。
	4	子どもの発達の状況や課題について、目頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時や日々のお子様のノート等を活用し、保護者と共通理解の徹底に努めております。	はい、16/どちらともいえない、1	送迎時にカリキュラムやその日の様子をお伝えさせて頂いておりますが、ご不安な点等ございましたら、お気軽にご相談ください。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	保護者目線に立ち、必要と感ぜられる支援や声かけなどを具体的に示し、助言・情報の共有につなげております。	はい、16/どちらともいえない、1	日々のお悩みや今後の支援等、お気軽にご相談ください。職員間での話し合いが必要な場合はミーティング等させていただきます。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	茶話会を定期的に開催し、保護者同士の連携する機会を実施しております。	はい、14/どちらともいえない、3	茶話会での保護者同士の意見交換の場を設けさせて頂いております。その他、ご希望がありましたら、今後検討します。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者への周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情に対する対応・体制の整備を行い、苦情があった場合には迅速かつ適切に対応するよう努めております。	はい、11/分からない、6 問題が起こったこともないですし、特に他のご家族との問題も耳にしたこともないので、分からないですが、体制は整備されていますと認識しています。	苦情に対して真摯に受け止め、その対応や原因などを職員一同で話し合い、保護者様にお伝えさせていただきます。 フローチャートを玄関には分かりやすく掲げさせていただきますので、いつでもご相談ください。
	8	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮	送迎時やメール等を活用し、保護者との日々意思疎通や共有・円滑な情報伝達に努めております。	はい、14/わからない2/わからない1 よく、ファイルにご連絡を下さり、助かります。 休みの連絡や面談の予約等、LINEでやり取り出来るとうり難しいです	送迎時に会えない保護者の方には、お電話、お手紙等で連絡を密にまいりたいと思います。 LINEでの連絡のご意見ありがとうございます。検討させていただきます。送迎時等でのカリキュラムの内容などを保護者様にお伝えしています。ご不明な点等ございましたらお気軽にご質問ください。また、お電話や面談でお答えさせていただきます。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	活動や行事予定を公開し、円滑に連絡体制をとれるよう日々発信を行っております。	はい、14/どちらともいえない、1/わからない、2	毎月、お子様のご様子や取り組み等をマンスリーにてお知らせさせて頂いておりますが、ご不明な点等お気軽にご質問ください。
	10	個人情報の取扱いに対する	個人情報に関しては、守秘義務を順守し、鍵付きキャビネットにて厳重に保管を行っております。	はい、15/どちらともいえない、2	守秘義務を順守し、鍵付きキャビネットにて厳重に管理を行っております。

非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各種マニュアルを完備し、職員間での共有・啓発を定期的に行っております。	はい、15/どちらともいえない、2	定期的にマニュアルに沿ったシュミレーションを行っておりますが、今後どのような形での周知が相応しいのか検討させていただきます。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年に2～3回の避難訓練や防災研修を実施しております。	はい、15/どちらともいえない、2	避難訓練については、定期的に行っております。訓練を実施した際には翌月にマンスリーにて記載しお知らせさせていただきます。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	虐待防止研修を年に数回、機会を設けて実施し、職員の研修・啓発活動に努めております。		虐待防止委員会を設置し、定期的に研修を行い、虐待防止に努めさせていただいております。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	やむを得ず身体拘束を行う場合の組織的なルールを明確化し、身体拘束を行う必要がある場合には、利用者や保護者への十分な説明・計画への記載を徹底して行っております。		ご契約時にご説明させて頂いておりますが、今後個別支援計画書への記載を検討させていただきます。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	おやつ提供がある事業所：事前ヒアリングにて、食物アレルギーに対する詳細を保護者へ確認し、おやつ等に含まれないようにアレルギーチェックを行っております。		飲食物の提供は行っておりません。アレルギーをお持ちのお子様もいらっしゃるため、お茶又はお水の持参のご協力をよろしくお願い致します。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット事例があった場合には、その旨を記録として残し、同じ状況が起こらないよう職員で共有・改善を行っております。		ヒヤリハットが校内で発生した場合にはその都度ミーティングを設け、事故につながらないよう努めております。他校で発生したヒヤリハットも情報共有し、他人事と捉えず日々の支援に取り組んでおります。